

日本共産党 県会議員 おくむらのり子の県政だより

2025年夏号

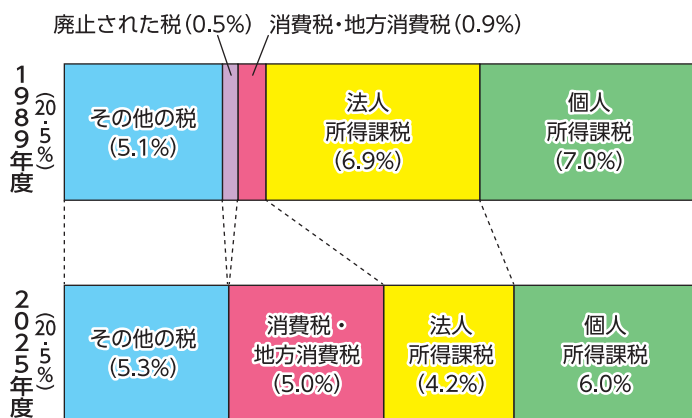
和歌山県議会6月定例会が10日から27日まで開かれ、18議案と1意見書が提案されました。日本共産党のおくむらのり子県議は補正予算を含むすべての議案に賛成し、本会議では一般質問しました。

物価高騰からくらし・営業まもる支援を 消費税の減税を

一般質問でおくむらのり子県議は、国と地方の税収に占める消費税の割合が導入時の5倍以上になり、消費税収の累計539兆円に対し法人税や富裕層の所得税が613兆円も減らされてきたことを批判。低所得世帯ほど消費税の負担率が高いことを示し、消費税を緊急に5%に減税することが必要だと訴えました。

(一般質問配付資料より)

消費税導入当時と現在との税収／GDP比の変化



(注) 国税・地方税の合計額の名目GDP比、単位：％。1989年度は実績、2025年度は予算見込。個人所得課税は「所得税＋個人住民税」、復興特別所得税は「その他の税」に分類している。「廃止された税」は、有価証券取引税、特別地方消費税(料飲税)、自動車取得税など

2025年6月6日 衆議院予算委員会

出典：国税庁資料より日本共産党田村智子事務所作成

宮崎県知事は「消費税は全世代共通で負担する社会保障の重要な財源」として、法人税減税などの穴埋めにされたことには触れませんでした。

教育費の負担軽減、 こども医療費無料化の拡大を



一般質問する、おくむらのり子県議

おくむら県議は、教育の無償化は国際人権規約に明記されていると指摘。教材費や制服代、通学費、修学旅行費など「かくれ教育費」といわれる負担の軽減を求めました。

宮崎知事は「物価高騰で教育費負担が重くなる場合は支援を見直す」と答えました。

こども医療費への助成は33都道府県が小学生以上も対象にし、県内29市町村が18歳まで、1市が中学生まで無料にしています。おくむら県議は、就学前までになっている県の無料化を拡大するよう求めました。

白浜空港の軍事利用の撤回を！

これまでの「専守防衛」を大きく転換し、戦争に備える態勢づくりを進める「安保3文書」の「国家安全保障戦略」で提起されたのが「特定利用空港・港湾」です。「安全保障環境を踏まえ一自衛隊・海上保安庁が平素から空港・港湾を円滑に利用できる」とされています。

おくむら県議は、熊野白浜リゾート空港が4月に本州で初めて「特定利用空港」に指定されたことに抗議。「県

は“防災目的”としているが、軍事・防衛訓練を一切しない保証があるのか」とただしました。

宮崎知事は「防衛に係る訓練利用の可能性がないとはいえない」と、軍事利用の可能性を認めました。

おくむら県議は、自衛隊の日常訓練による騒音や事故発生、相手国の攻撃対象となる危険性を指摘し、県民の安全を担保するために「特定利用空港」の指定を撤回するよう訴えました。



福祉環境委員会の質問

医療機関の経営を支援し、 入院ベッド削減は中止を

おくむらのり子県議は、赤字経営の公的医療機関がふえているもとの、県として病院経営を支援するよう求めました。

また、これまで県内でも「地域医療構想」で進められてきた入院ベッド削減や、自民・公明・維新が新たに合意した医療費4兆円削減のための全国11万ベッド削減を批判。コロナなどパンデミックへの対応ができなくなると訴えました。



ジェンダー平等社会、 男女賃金格差是正を

おくむら県議は、男女の賃金格差が生涯で1億円にもなることを指摘。男女賃金格差を是正するとともに、性的マイノリティの方々も含め、誰もが自分らしく生きることができ、一人ひとりが尊重されることがジェンダー平等社会であると訴えました。

県への申し入れ

高校生の万博動員 中止を

おくむら県議は、4月に開幕された大阪・関西万博の危険な実態が明らかになっているもとの、県教育委員会が、企業から寄附された入場チケットを高校へ配布し、生徒の動員を進めていることを中止するよう緊急に申し入れました。

申し入れでは、昨年3月の大規模なガス爆発事故に続き、開幕直前のリハーサルでもパビリオン内の火災発生や、着火すれば爆発する濃度のメタンガスが検知されたことを指摘。博覧会協会の検知器ではガスは検知されず、換気対策も不完全であることが改めて浮き彫りになったと追及しました。

さらにこのことから、地震・津波・台風・集中豪雨・



今西教育長に申し入れる、おくむらのり子県議（左側中央）

雷など大規模災害に対し、博覧会協会がとなえる「防災計画」の信ぴょう性や実効性が疑われると批判。県教育委員会の責任で、学校を通じて大阪・関西万博の危険性を保護者に周知するとともに、こどもたちを動員することをただちに中止するよう求めました。

「県民葬」に県費支出は不適切



知事室長に申し入れる、おくむらのり子県議（中央）

おくむら県議は、岸本周平前知事が急逝されたことに、深い哀悼の意を表しました。

一方で、岸本氏の通夜や葬儀とは別に「県民葬」を行うことについて申し入れを行いました。県民文化会館で行われた「県民葬」には3300万円が費やされ、そのうち2400万円を県の予備費から支出しました。

おくむら県議は、議会などにはかられることなく、実施の根拠が不明瞭な「県民葬」に、災害や感染拡大など不測の緊急事態に備えた予備費を使うことは、不適切な支出であると申し入れました。

